

キッズみんなの日記

3月号

梨香台ゼミナールでは学校より一足早く、今月より新学期がスタートします。新学年の学習はどんなものかな、難しいのかなと塾生達は皆、ドキドキワクワクしているようです。

新たに三月より入会された皆さん、ようこそ梨香台ゼミナールへ。講師・スタッフ一同、みなさんの学習を全力でサポートしていきますので、一緒にがんばりましょう！

さて、今月号掲載の日記では高学年が「雪」のことについて触れています。通常、「雪」が題材となっている日記では雪合戦をした、かまくらを作ったなど、雪遊びについての内容が大半です。しかし、今月号掲載の作品は違った視点から「雪」についての自分の思いを上手に表現しています。もちろん、今年は雪が積もらなかったため、雪遊びについて書くことができなかったということもあったのでしようが。

彼らの日記を読み、私も「雪」だけでなく自然の表情について考えさせられました。是非ご覧になって下さい。そして、今後の日記の参考にしてください。

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと

あそんだこと

となりのいえのことあそびました。さいしよはなわとびであそんでいました。つきはかさでいえをつくりました。それで、おうちごっこをしました。たのしかったです。

(小一・KYさん)



Kちゃんが楽しそうに遊ぶ姿が目につかびます。遊んだ何をして遊んだかもちゃんと書いていて良いですね。次は友達とのやり取りも書いてみましょう。

音読カード

わたしの音読のしゅくだいはかさこじょうです。土曜日は一日さんかん日だから、いっばいのひとにかきこじょうの歌やせりふやふりつけをじょうずに見せたいです。

(小二・RNさん)



宿題を頑張る理由をしっかりと書いていますね！いつも元気なRちゃんなら大きな声で読めたことでしょう。その調子でこれからも頑張つてね！

ユニバーサルスタジオ

お兄ちゃんといっしょにお父さんのおとうさんといっしょに大きかのユニバーサルスタジオに行きました。いろんなのりものがありました。

バックトゥーザフューチャーというのりものは一だいの車でタイムスリップするのりもので、前にスクリーンがあつて、まちがうつって、その町のたてものまどにつこんでいたり、きょうりゅうじたいに行つて、きょうりゅうの口に入つたりして、よこにゆれたり前にも後ろにもゆれました。



のりものは六このりしました。たのしかったです。

(小二・YTくん)

印象に残った乗り物がどういったものなのかを詳しく説明できています。日記の基本はより詳しく(具体的に)書くということです。から、この点を見習いたいですね！

★★★自分の思いを伝える★★★

日月にスキーに行った

わたしは日月に福島県のスキー場に行きました。出発したあと、一つ目の休けい場につきました。そこで朝ごはんをかいまして、かっただのはファミチキです。とてもおいしかったです。

つきにかしわやのおみやげやさんに行きました。そこでお父さんが一つだけおみやげをえらんでいいよと言ったのでえらびました。えらんだ物は

おまんじゅうです。お母さんがよろこんでくれればいいなと思いましたが、そのかし



わやから見えるスキー場はとても大きく見えて、きんちようしてききました。

そして、スキー場に行きました。一本目をすべります。しよきゆうに行きました。一本目だけ一回も転びませんでした。

そのあとちゆうきゆうも行ったけど、一回も転びませんでした。そして、ホテルに行つて、おふろに入つたり、ウノをしたりしました。

二日目はしよきゆうで一回転んでしまいました。少しくやしかったですが、目ひようは全部転ばないだったからです。次にスキーに行くときは、今回みたいに転ばないように頑張りたいです。去年は一回も転ば

なかったから、今回は悔しいです。次は転ばないように練習して頑張りたいです。

(小三・Kーさん)

「緊張」や「悔しい」など、その時々気持ちを理由と共に書いています！見習いたいテクニックです。次回は転ばないように頑張つてね！

いちごがり

二月十四日にいちごがりに行きました。それは「メグミランド」という所で大きないちごがハウス二つ分にぎっしりとなっていました。食べてみると「すっぱー」というものや「あまーい。」というものもありました。



とくに「へにはっへ」がおいしかったです。三種類くらいのいちごがありました。とてもおいしかったです。

(小四・RMさん)

「ぎっしり」という擬態語や思わず口に出してしまった言葉をそのまま使うことによつて、イチゴ狩りの様子が生き生きと描かれています。お見事！

英語

私は先週の土曜日と日曜日に英語がありました。

土曜の時は英語検けん定で少し難しかったけど、なんとか出来ました。日曜の時は外国人と話すテストで、こっちの方はあんがいかんたんでした。外国人は明るくて話しやすいかったです。

(小四・MFさん)

自分の気持ちだけでなく、相手の様子を書いているところが良いですね！文章は周りの皆さんも是非書いてみて下さい。

ぬかとり

「おなかないな。」と思ったけどぬかとりに行かなきゃいけなかったの、がまんしてぬかとりに行きました。



ぼくの仕事は精米所に着いたらビニールぶくろを広げてぬかをお父さんに入れてもらおうことです。これからもがんばりたいです。

(小四・KTくん)

お腹が痛くてもお家のお手伝いをする。K君は偉いですね！これからも頑張ってお家の人を助けてあげてください！ちなみに、精米したてのお米は美味しいですよ。

出来事や気持ちをより細やかに伝える

うれしい土曜日

私は土曜日に病院に行きました。そして、先生からもう運動してオーケーだよと言われたのでうれしかったです。

次の日、私はバスケの練習をしに行きました。

した。久しぶりだったので、体力も全然なくて、コート六周もへちゃらだったのに、今はつかれていきぎれしてしまっていたので、これから



ず。どんどんとりもどしていききたいと思います。

(小五・Nーさん)

過去の自分、現在の自分、そして、未来の自分を上手に表現できています。バスケトボールに懸けるNちゃんの強い気持ちも伝わってきます。これからも頑張ってくださいね！

学級へいさ

二月六日から二月九日は私のクラスが学級へいさでした。



家の中ではお母さんたちが帰ってくるまでずっと一人だったので、でもひまでした。みんなは学級へいさでラッキーと言っている人も多いけど、学校に行っただけが友達とかと遊べるし、とても楽しいなと思いました。

今のところ、休んでいる人が少ないので、もう学級へいさにはならないと思います。だから、インフルエンザにはなりたくないです。

(小五・RAさん)

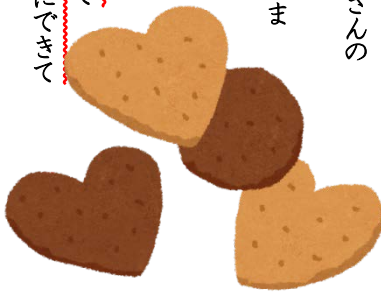
学級閉鎖になると、その時は嬉しく感じたりもしますが、実際は暇になってしまつてつまらないですよ。そういった気持ちをスレートに書いてくれているところがとても良いですね。

バレンタインデー

今日、バレンタインデーにみんなにあげるガトーショコラを作りました。

ホームページにガトーショコラの作り方がのっていたので、それを見ながら作りました。ホームページには六個分の材料のついでにあげるので、たくさんの方にあげるので、材料も多めに買いました。

全部で三十個作りました。ガトーショコラを作ったのははじめてだったけど、上手にできてよかったです。



(小五・KSさん)

全部で三十個も作るなんて、すごいですね！

更に最初は初めて作ったのに上手にできるなんて、羨ましいです。来年も新しいお菓子作り挑戦してみてください。

卒業を祝う会の練習

二月二十日に祝う会があります。祝う会は私達六年生のために一〜五年生が開いてくれます。私達六年生も、今出し物を練習しています。その中の一つの人文字は、みんながつなげて文字や絵をうつすものです。今日、初めて自分たちがどういう絵や文字をやっているのかを見ました。絵も文字も分かるぐらいのできたので良かったです。本番もうまくいくといいです！



(小六・SFさん)

卒業シーズンの到来ですね。きっと、下の学年の子供たちもSちゃん達のために頑張っていることでしょう。本番では今まで以上にうまくいくように陰ながら応援しています！

雪

雪がたまに降る。今年には雪は何でか降るが、私が住んでいるところでは積もらない。積もたらみんな雪合戦や雪だるまを作ったりしたかった。でも、大人は雪かきをやだからよかったと言っている。



私も今は楽しいけど、大人になったら雪がきらいになるのかな？

(小六・MYさん)

日常の「コマ」を詩のように表現している素敵な文章です。

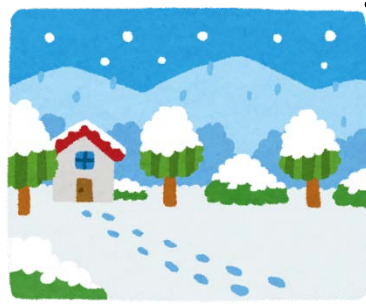
疑問で締めくくっているところも印象的です。雪についての素直な思いが伝わってきます。お見事！

雪

金曜日に降った雪は雨と太陽のせいで全て解けてしまい、金曜日に降ったのは本当に雪だったのかというほど、雪はどこにも残っていませんでした。

大人は雪が降ると、電車が止まるからいやだとか、渋滞するからいやだとか言うことがよくありますが、ぼくは雪が降っても良いと思います。

なぜなら、東京や千葉などに雪が積もることはめったにないから、雪の積もった松戸の景色はいつもと違って新鮮で楽しいと思うからです。



また松戸に雪が降ったら、雪の積もったいつものとは違う景色を楽しみながら学校や仕事に行ってみるのも良いのではないかとぼくは思います。

(小六・THさん)

自然は見方によって様々な表情があるということ再認識させられました。これからは雪に対して優しい気持ちになれる、そんな文章ですね。

「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kohdai.comまたは、編集担当▼藤田 n-fujita@kohdai.com まで、ぜひご一お寄せください。

皆様の「ご意見を参考に」、より良い紙面作りに努めて参ります。